

聴覚障害者情報提供施設

[発行元] 茨城県立聴覚障害者
福祉センターやすらぎ

やすらぎ だより

〒310-0844
茨城県水戸市住吉町349-1
TEL 029-248-0029
FAX 029-247-1369
ホームページ
<http://www.center-yasuragi.or.jp>
休館日/月曜午後、火曜日、祝日

暑中お見舞い申し上げます。

コロナの感染者が、また、増加してきましたね。なかなか収束の見通しが立たない中、感染予防を工夫しながらの事業遂行を考えていきたいと思えます。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



全国聴覚障害者情報提供施設協議会総会及び大会参加

2022年度総会及び第18回（通算30回）大会が6月17日（金）に開催されました。

愛知県桜華会館での集合とZOOMを使用したオンラインを併用するハイブリッド形式で開催され、全国から53施設が参加し、会場20名とオンライン33名が出席しました。茨城県はオンラインで参加。総会3名、式典と講演には午前に加えて5名が参加しました。

午前は総会で、2021年度の事業報告、決算報告と2022年度の事業計画、予算が全会一致ですべて承認されました。

午後は、式典に続いて、講演で厚生労働省自立支援振興室の富原博氏から「デジタル社会の実現に向けた聴覚障害者情報施設の役割」のテーマで、障害者総合支援法改正法施行後3年の見直し、デジタル社会の実現に向けた取組、障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法、電話リレーサービス法、難聴児の早期発見・早期療育の推進について、講義されました。

次のシンポジウムでは、シンポジストの4人とコーディネーターで視覚障害者のサピエ図書館の取り組みなどを参考にしながら、今後の聴覚障害者のICTへの取り組みに対する意見交換が行われました。



2022(令和4)年度中途失聴・難聴者コミュニケーション講習会開催

6月18日に、2022年度中途失聴・難聴者コミュニケーション講習会が開講しました。

今年度は、12月10日までの全10回。土曜日の10:00～12:00 水戸市福祉ボランティア会館ミオスの視聴覚室で開催します。

6名の受講生は、年齢も聞こえの程度もまちまち。でも、各自の環境や受講動機を聞き、皆さん、心が通じ合ったようです。和気あいあいと、楽しく手話の練習をしています。写真は、講師の手話をまねながら、指文字の練習をしている様子です。

次回は、補聴器の専門家を招いての講演会の予定。読話の練習も入れていく予定です。この講習会を通して、受講生の皆さんに、生活のお役に立つ情報を、たくさんお届けできるようにしていきたいと考えています。



盲ろう者向け通訳・介助員研修会 実施報告

6月26日(日)午前 第1回研修 やすらぎ 会議室 参加者 31名
 模擬講演会という形式で行いました。

講演内容 講師 為末大氏 「限界の正体～見えない檻から抜け出す法」
 手話のグループ、筆記グループ、音声グループ、プリスタ(ブレイルメモ、パソコン)グループと分かれて行いました。いずれも、1人は盲ろう者役で、ノイズ入りイヤホンと視覚障害体験グラスを使用。それぞれのコミュニケーション方法で、盲ろう者役に講演の内容を伝えました。

日常生活では使わない言葉が出てきて、聞こえない、見えにくい状態で聞こうと努力しているのだが、分からない……。わかりやすく通訳しようと思っているが、上手く出来なくて困った。などなど……。適切な情報提供、状況説明は、思っているより、難しいと感じました。



こういう研修を増やして、少しでも多くの情報提供が出来るようにしたいと思います。



3資格合同研修会 開催報告

6月26日(日)午後、対面とオンラインのハイブリット形式で、登録手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者向け通訳・介助員の3資格合同研修会を開催しました。当日は、「頸肩腕障害の予防と治療」というテーマで、広島大学客員教授で広島県・友和クリニック院長の宇土博先生にご講演いただき、各自宅から視聴33名、やすらぎでの視聴76名、計109名が参加しました。



講演では、頸肩腕障害が起きてしまう要因や身体の仕組み、歴史や事例について解説があり、3資格それぞれの状況に合わせて身体への負担軽減や予防の方法をご提示いただきました。また、新経路治療の紹介では、肩こりに効果のあるツボを実演を交えてご教授いただきました。



手話通訳士養成講座・公開講座 開催報告

今年度の手話通訳士養成講座は第1回目を公開講座とし、7月10日(日)午後に対面とオンラインのハイブリット形式で開催、これから手話通訳士を目指す方、現任の手話通訳士、合わせて14名が参加しました。当日は、一般社団法人日本手話通訳士協会理事 小林君恵氏を講師として、手話通訳士試験の概要や試験対策・学習のポイントについてご講演いただきました。今話題となっているトピックスについて調べて手話で語る練習、ろう者の語りから手話表現を学ぶ…等、受験生はもちろん、参加者みんなにとって、日頃の手話学習や通訳トレーニングにも通じる貴重なお話をうかがうことができ、それぞれ自己課題の具体的な対策を考える機会となりました。

2022年度茨城県盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会【受講生募集】

- 1 受講対象者 盲ろう者向け通訳・介助員を目指す意思のある方
・受講修了後、通訳・介助員として活動が出来る方（修了要件 三分の二以上の出席）
- 2 期 間 2022年8月25日～10月13日（全8回 全木曜日）
8/25 9/1,8,15,22,29 10/6,13
10:00～16:00
- 3 会 場 鹿嶋市立中央公民館 まちづくり市民センター（駐車場有）
- 4 定 員 15名
- 5 資料代 3,000円（講習会内でかかる交通費、昼食代等は実費）
- 6 申込内容 ①氏名（ふりがな） ②年齢 ③郵便番号 ④住所 ⑤連絡先 ⑥障害有無⑦手話、点字、要約筆記、視覚障害者向けのガイドヘルパーの経験等あれば望ましい。⑧応募動機
- 7 申込方法 申込内容をFAX又はハガキ、電話等でお申し込みください。
- 8 申込締切 2022年8月5日（金）
- 9 その他 ①情報保障（手話通訳や要約筆記）が必要な場合は、申込時にご記入ください。
②カリキュラム内容や会場等を変更する場合があります。また、現在の社会情勢を鑑み日程・会場を変更することもあります。
③申込者が定員を超えた場合は、書類選考の上、受講者を決定します。

申込先及び問合せ先

茨城県立聴覚障害者福祉センターやすらぎ 盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会係
〒310-0844 水戸市住吉町349-1
TEL 029-248-0029 FAX 029-247-1369

第7回 ＊ろう者限定《巡回「手話で話す会」牛久市》報告＊

◆日 時 6月23日（木）13時～15時

◆会 場 牛久市中央生涯学習センター 2階 音楽室

参加者 6名（男 2名 女 4名）介助員 2名 スタッフ 4名 計12名

マイナンバーカードのこと、福祉機器のこと、頭体操（数字探し、同じ数字探し）、手話表現の違いなどの披露などをして、楽しく過ごしました。

特に、牛久市の「おじゃま隊」の活動のことは、参考になる話を聞かせていただきました。



令和 4 年度 第1 四半期事業報告



登録者数	
手話通訳者	108
要約筆記者	26
盲ろう者向け通訳・介助員	47

手話通訳・要約筆記・盲ろう者向け通訳派遣事業

● 派遣状況

(単位：人)

区分	4 月	5 月	6 月	計 A	前年度 B	差引増減 (A-B)
手 話	311	267	327	905	1024	▲119
要約筆記	45	40	25	110	81	29
盲ろう通・介	8	13	10	31	38	▲7
計	364	320	362	1046	1143	▲97



ろうあ者相談事業

● 相談者の状況 (4月～6月)

男	女	家族	公的機関	その他	計
7	16	1	2	0	26

● 月別相談者数 (4月～6月)

4月	5月	6月	計
12	8	8	26

ビデオライブラリー事業

● 利用状況(4月～6月)

4月	5月	6月	計
0	14	0	14

ライブラリーで所蔵しているDVDはすべて字幕入りですが、一部、手話通訳入りの作品があります。ろう者による通訳付きの作品も、あります。ぜひ、お楽しみください！ご利用お待ちしております😊

令和4年度 頸肩腕健診実施について (予定)

令和4年9月11日(日)・10月2日(日) 会場 やすらぎ (2回に分けて健診)

◆希望者が集中した場合は、日時の調整をお願いすることもありますので、あらかじめご了承ください。

◆身体の動きを見るために手や足腰を動かしていただくことがありますので、運動靴や動きやすい服装でお願いします。

※ 対象者の方には申込書をお送ります。(7月下旬予定)
事前に人数把握のため、希望日等の必要事項を回答の上、FAXにてご返信ください。

